



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第29週報 No. 1918 2016年(平成28年) 2月5日 第1918回 例会記録 2月12日発行

本日〈2月12日〉のプログラム

- ◆ 斉 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 菜の花御膳
- ◆ 卓 話 「百歳人研究と長寿人類学」
中国貴州大学特聘教授 全 京秀 様
(紹介者 米山学友 副会長 李 徳雨 様)

〈〈本日のBGM〉〉
アルバム「Softly」～ kei kobayashi ～

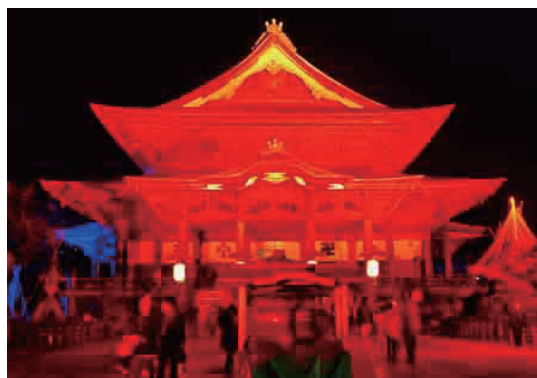


PHOTO 小池将夫会員

司 会 小山 市康 副幹事

誕生日祝 山田 正憲 会員 (2月9日)

点 鐘 江森 国一 会長

斉 唱 「君が代」 「奉仕の理想」

四つのテスト 山本 芳弘 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)



ゲスト紹介

田辺由紀夫 様 (ゲストスピーカー)
藤原 裕志 様 (タウンニュース 編集長)

ビジター紹介 神奈川RC 金野 克佐 様



2015-2016年度 RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長	江 森 国 一	会 計	渡 邊 淳
会長エレクト	植 田 清 司	副 会 計	白 井 康 夫
副 会 長	矢 野 修 二	S A A	長 井 章
副 会 長	加 藤 仁 昭	副 S A A	白 鳥 厚 夫
幹 事	朝 日 達 夫	副 S A A	澁 谷 高 弘
副 幹 事	小 山 市 康	クラブ会報	田 中 龍 太 郎

例会日 毎週金曜日 0:30 ~ 1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)
例会場 ホテルキャメロットジャパン
URL <http://www.kanagawahigashi.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555
創立記念日 昭和51年5月29日

会長報告

江森 国一 会長

・地区より、2018-19年度ガバナーノミニー・デジグネート告知・確定宣言が来ております。当地区指名委員会は、2018-19年度ガバナーノミニー・デジグネート候補者として、金子大（かねこ ゆたか）氏（横浜中RC）を指名。他に候補者の推薦がないので、告知と同時に2月2日付にて金子大氏が、ガバナーノミニー・デジグネートに確定したことを宣言されました。

幹事報告

植田 清司 直前幹事

- ・次週、例会終了後に2月度定例理事会を開催致します。
- ・㈱クマヒラより、「抜粋のつづり」が届いておりますのでボックスへ配布致しました。
- ・本日、米山寄付とR財団寄付の領収書をボックスへ配布しております。確定申告の際に必要となりますので、ご確認をお願い致します。
- ・2016-17年度のロータリー手帳の注文依頼が来ております。申込書を回覧致しますので必要とされる方は名前を明記願います。なお、代金につきましてはクラブより負担致します。

委員会報告

雑誌委員会 委員 飯田 泰之

今月は 平和と紛争予防／紛争解決月間です。

横組み14頁～15頁に表題「平和の願いはきっとかなう」で特集が載っております。ロータリーの創設者、ポールハリスは、2度の世界大戦の中を生き、世界平和の難しさを痛感し、強く平和を希求したロータリアンでありました。ポールハリスが亡くなって50年を記念してこの構想が立ち上がり、彼のメモリアルプログラムとして2002年に創立されたのが「ロータリー平和センタープログラム」です。以下にロータリーフェローの活動が記載されています。

縦組み30頁のロータリーアットワークの上段に、当2590地区横浜本牧ロータリークラブが「北米の学生らが日本文化を体験」として、横浜三溪園にてアダチ伝統木版画技術保存財団による葛飾北斎の「神奈川沖波裏」の浮世絵摺りの実演を見学した旨の記事が載っております。

以上、2月の「ロータリーの友」の紹介を終わります。

出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	52名	(31+21)名	
出席会員数	42名	(23+19)名	
出席率	84.00%		
ゲスト	2名	ビジター	1名
前回補正後	93.62%	前々回補正後	95.92%

スマイルボックス

長井 章 SAA

神奈川RC 金野克佐様 本日もお世話になります。

山田正憲君 誕生日祝い、ありがとうございます。風邪をひいたみたいです。

江森国一君 日曜日のB-SKY FES 2016、昨日の第3テーブルミーティング参加の皆様、ありがとうございました。

石川正三君 日曜の記念イベントに参加された皆様、ご苦労様でした。

山本 登君 本日、所用にて早退致します。

伊東英紀君 先日のB-SKY FES 参加の皆様、ご苦労様でした。盛況で楽しい一日を過ごしました。

西山 潔君 田辺由紀夫先生、本日の卓話、よろしくお祈りします。楽しみにしております。

植田清司君 昨日のテーブルミーティング、テーブルマスターの古澤さん、副マスターの横溝さん、大変お疲れ様でした。

横溝 亘君 昨日の第3テーブルミーティング出席の皆様、お疲れ様でした。古澤テーブルマスター、とても楽しいテーブルミーティングでした。

白井康夫君 お誕生日のお祝い、ありがとうございました。2月1日で47歳になりました。

第3テーブルマスター 古澤一憲君 第3テーブルミーティングにご参加下さいました皆様、お疲れ様でした。大変有意義な会になりましたこと、感謝致します。残金をニコニコへ入れさせて頂きます。

澁谷高弘君 本日、初デビューです。宜しくお願いします。

2月5日	12件	50,500円
本年度累計		1,320,413円



「加齢と眼」

眼科医 田辺由紀夫 様
(紹介者 西山 潔 会員)



加齢に伴って発症する代表的な眼疾患について述べる。

1. 白内障

白内障は水晶体が濁るために視力が低下する疾患である。医療機器や医療材料の進歩により短時間で安全な手術が行われるようになってきている。そのため、以前よりも早期に手術を行う傾向にあるが、一部には営利目的で不必要な手術を勧める例がある。原則的には、日常生活や仕事に支障を来す視力低下があるようなら手術を考えるべきである。

現在の手術は、混濁した水晶体の内容を除去し、眼内レンズを挿入する方法が標準である。眼内レンズには多焦点のものもあるが、これは保険適応外となる。

2. 緑内障

緑内障は眼圧が高いために視神経が障害され、視力低下や視野狭窄を来す疾患である。一般には正常眼圧は10mmHg～20mmHgとされるが、これは統計的に正常眼から導かれた数値であり、個人の正常値にはばらつきがある。そのため、前述の正常範囲の眼圧でも緑内障に特徴的な視野変化を呈する例が少なくない。日本人ではこのタイプの緑内障が最も多く、これを正常眼圧緑内障と呼んでいる。

一部を除くと初期の緑内障は自覚症状に乏しいため、早期発見には眼科での定期的な検診が勧められる。

3. 加齢黄斑変性

黄斑とは眼底の中心、最も感度のよい場所の名前である。ここには光や色を感じる視細胞が多く存在し、視覚に大きく関係している。加齢とともに黄斑の機能が障害されるのが加齢黄斑変性で、萎縮型と滲出型に大別される。前者はある程度の視機能を保ち症状固定することが多いが、後者は失明に近い状態になることもある。

本症に対する治療はこの20年ほどで大きく進歩し、早期に対処すれば失明を免れることができるようになってきた。しかしながら、進行は抑制できても治癒に至る治療方法は現在のところない。将来的には再生医療による治療が期待できるが、未だ試行段階で現時点では現実的な選択肢にはなり得ない。

4. おわりに

いずれの疾患も加齢が危険因子であるが、文献上もうひとつ共通する因子がある。それは、喫煙である。加齢は避けることのできないものだが、喫煙は控えることができる。眼科からも禁煙は“お勧め”なのである。

会議」(Rotary World Peace Conference)が開かれ、平和構築をめざす人や専門家が世界中から集まりました。会場となったサンバーナーディーノ郡の町オンタリオは、約1カ月半前、死者14名と負傷者20名以上の惨事となった銃乱射テロ事件の現場からそう遠くありません。期せずして、この事件が平和会議の重要性をさらに強める結果となりました。

サンバーナーディーノ郡行政官を務め、フォンタナ・ロータリークラブ(カリフォルニア州)の会員であるジャニス・ルサーフォードさんは、開会本会議で次のように述べました。

「今までにも増して、私たちが一体となって平和を築き、人びとの苦しみを和らげる必要があります。(中略)このことを世界中の地域社会に伝えようとする皆さんの努力に心から感謝します」

この挨拶の後、ルサーフォードさんは1月15日を「サンバーナーディーノ郡の平和の日」とすることを宣言しました。

ロータリー会長主催会議の1回目として開かれたこの会議には、平和、教育、ビジネス、法律、医療など各分野のリーダー150人以上を含む計1,500人以上が出席。「教育を通じた平和の実現」「人身売買の撲滅」「紛争をなくすためにメディアが果たす役割」など、実践的な解決策をさぐる100以上の分科会とワークショップが行われました。この会議について、K.R.ラビンドラン国際ロータリー会長は「ロータリー会員がいかに平和構築に寄与できるかを示す例」と話します。

「政府や国連が平和を実現してくれるのを待ってはいけません。平和は誰かが運んでくれるものだと期待してはならないのです。(中略)平和とは、社会の土台となる草の根レベルで築かなければなりません。この会議から学べる貴重な情報は、今後の生活の中で、地元地域で、そして世界で、争いを防いでいくために役立つものです」

さらに、人道的支援に熱心な女優シャロン・ストーンさんも講演し、思いやりと相互理解を育むために寛容な心をもつよう出席者に呼びかけました。「今日の世界では、テクノロジーの発達のおかげで他国の文化や信仰について学びやすくなりました」とストーンさん。「敵対する者をとりまく事情を理解できれば、対応策もより明らかになるものです」と述べ、互いの違いを学び、受け入れあうことの重要性を訴えました。

ギャングに走った少年たちを支援しているロサンゼルス の団体、Homeboy Industriesの代表、グレッグ・ボイル牧師も、少しずつ世界を変えているロータリーの活動を評価しました。

「ロータリーは、人と人とを分け隔てている壁を取り除こうと決意しました」とボイス牧師。

「皆さん(ロータリー会員)は、社会の底辺にいる人を救い出すことによって、底辺そのものをなくすことの必要性を理解しています。皆さんは、貧しい人、社会的な弱者、尊厳を侵された人たちの側に立って活動しています」

平和と紛争解決の研究や実地研修を通じて平和構築に貢献できる人材を育てる「ロータリー平和フェロウシップ」にもスポットライトが当てられました。戦争、暴力、不寛容に対する、いわばロータリー最大の武器となるこのプログラム。今回の会議にも数十人のロータリー平和フェロウ(プログラム卒業生)が出席し、ロータリー平和センターやロータリークラブが平和に

ロータリーニュース

平和への道をさぐる ロータリー世界平和会議

1月15日と16日、カリフォルニア州で「ロータリー世界平和

どう貢献できるかを語りました。中でも、最近クイーンズランド大学（オーストラリア）を卒業し、現在はアフリカと中東の団体にアドバイスをする米国のコンサルティング会社で働くクリストファー・ザンパカリさんは、今回の会議について「数多く行われている平和構築活動について、多くの人に知らせてもらうチャンス」と話します。

「平和については、母国側の視点だけで捉えている人が少なくありません。（中略）今回のような会議は、平和実現に向けた多くの可能性を開くものです」

そのほかの講演者は、米国平和部隊のキャリア・ヘスラー・ラデレット長官、レバノン特別法廷のダニエル・ンセレコ判事、国連財団シニアアドバイザーであるジリアン・ソレンセン氏、経済平和研究所の創設者で会長であるスティーブ・キレリア氏、ダン・ラングレン元米国下院議員、カーターセンターのCEOで元在バングラデシュ米国大使であるメアリー・アン・ピーターズ氏など。



「ピース」サインをする女優シャロン・ストーンさん

ロータリーニュース

RI 会長からのメッセージ

2016 年 2 月

人生で一番かけがえのない経験ほど、あっという間に過ぎてしまうことがあります。瞬きをした瞬間、数分、数時間、数日のうちに終わってしまうのです。しかしその経験は、私たちの記憶の谷を鮮やかに彩り、何年たっても色褪せず記憶に残るものです。そうした経験をする、これまで見えなかったことが突然見えてきます。わからなかったことを理解できるようになり、予期せぬ結びつきが芽生えます。

私にとっては、本ロータリー年度がまさに一番の経験です。世界を回り、各国、各大陸を旅してきました。それまで見たことのない土地を訪ね、故郷に戻ると、見慣れた地元をロータリーというレンズを通して新しく、違った角度から見るができます。皆さんもロータリー関係で旅行するとき、いつもと違う視点や目的を持っておられるでしょう。自分が、何か大きな大きな運動の一部であることを認識できるはず。電車や飛行機に乗って、または夜明け間もなく家を後にして、見知らぬ土地を訪れたとしても、赤の他人ではなく、ロータリアンが出迎え、歓迎してくれます。現地で活動に尽くし、学び、ときには教えることもあるでしょう。そして、つながりを築き、友情を深め、生涯残る思い出ができます。

今年度、私が旅行者として世界中のロータリアンに温かく迎えていただいたように、皆さんにも同じ体験をしていただきたいと願っています。

5月28日～6月1日に韓国ソウルで開かれる第107回ロータリー国際大会へぜひご参加ください。韓国では、「사람이 나면 서울로 보내라」（生まれたらソウルへ）という言い回しがあるそうです。ソウルは機会あふれる街。伝統と先端技術が織り交ざり、ほかに類を見ない文化を誇ります。私が国際大会への参加を勧めるのは、開催地の素晴らしさからだけでなく、そこで仲間のロータリアンとともに特別な経験ができるからです。

大会は短い期間ですが、私が経験したように、ロータリーの多様さ、温かさ、大きな可能性をご実感いただけるでしょう。初対面でもまるで旧友同士のように交流し、同じ言語を話さなくても意思疎通ができます。大会を後にする頃には、ロータリーの世界に魅せられ、あふれんばかりの活動意欲に満たされます。

本年度が終わるまでに、ぜひ皆さんにも、この素晴らしさをご経験いただきたいと思います。家を離れ、飛行機に乗り、広い心で新しい土地を訪ねると、そこではロータリーが歓迎してくれます。私と一緒に、ロータリアン仲間と一緒に、「韓国で世界とつながろう」ではありませんか。

2015-16 年度会長 K. R. ラビンドラン

第 2590 地区ロータリアンの美術活動懇話会グループ
代表 賀田 敏彦 (横浜北C)
幹事 五十嵐 正 (横浜北C)

第 54 回ロータリアン展参加者募集

前略 恒例の行事として行われているロータリアン展を次年度も開催いたします。
このロータリアン展は来年で54回目となり、地区内ロータリアンの作品の発表の場として企画しております。ロータリアンはもとよりご家族ご友人も参加できます。
来年度は下記の内容にて予定しております。絵画、写真、書画、彫刻、焼き物等、日頃の趣味の発表の場としてご利用していただけます。このロータリアン展はクラブの枠を超えた趣味の交流、親睦の場となっております。皆様の奮ってのご出品をお待ち申し上げます。

会 期: 平成28年4月18日(月)～23日(土)
展示会場: ガレリアセルテ(関内駅北口前セルテ3F)

出展者の範囲: ロータリアンとその家族ご友人
出展数: 20号基準1人2～3点まで(但し出展者数未定につき変更あり)
作品の種類: 油彩、水彩、日本画、写真、彫刻、書、陶芸、彫金、染色、刺繍等々
出品料: 2万円(20号以上壁面使用の方)但し、小品の方は1万円(申込用紙は裏面にございます。)
申込締切: 平成 28年 3月20日(日) までにFAX送信又は郵送にてご連絡ください。
FAX番号: 045-353-0088 南五十嵐印刷
〒240-0032 横浜保土ヶ谷区法泉1-6-6 南五十嵐印刷 五十嵐正 宛

宮城県の子どもの作品を貸出し

被災地支援イベントにご利用ください。

今回の地区大会には、こども美術展の企画として、被災地宮城県の子どもの沢山の協力により、約260点の作品が集まりました。私たち美術活動Gとしては、この作品を地区大会だけではもったいない、地区内各クラブの被災地支援イベントに貸出し、大いに利用していただくを考えました。
点数は左がA(B1) サイズで28枚ございます。必要な数で構いませんのでお申し出ください。もちろん無料です。(送料はご負担願います。)

■お問い合わせ
幹事五十嵐までご連絡下さい。
携帯電話 080-3271-0011

次回〈2月19日〉の予定

テーマ 「ちょっとした工夫でできる認知の鍛え方」

かわさき記念病院 院長 福井 俊哉 様
(紹介者 山本 登 会員)